



学校部活動の課題とは



- ・希望の種目がない
- ・専門的な指導を受けたい
- ・1つに絞れない など

- ・技術指導で困っている教員
- ・技術指導ができて、負担に感じている教員
(生徒、保護者からの要望、期待など)
- ・異動に伴う顧問の配置の難しさ
- ・教育課程外の活動 (教員の担うべき業務ではない) など



その他・・・

部員の人数が少なくてチームが組めない学校があります。

今後、生徒数の減少に伴い、教員数の減少が見込まれます。新たな活動の選択肢を増やすことが困難です。

学校部活動は、教員の献身的な支えにより続けられています。

○学校部活動の業務と役割

担当	業務
教育委員会	実態把握、創部・廃部、休日管理、部活動支援員
	部活動費徴収・管理、部活動助成金交付
学校	部活動費徴収・管理
	安全管理、ケガ対応、トラブル対応
	名簿作成、スケジュール・場所調整 (予定表作成)、消耗品・備品購入、修繕、物品購入手続き (説明、承諾書、申込書等作成、発注、集金等)
	大会引率、大会運営、審判、抽選会 (顧問会議)、練習試合 (交渉)、実施要項等作成等
	生徒指導、仲間づくり、ニーズへの対応・個別対応、練習メニュー作成
	技術指導

○子どものニーズに合った、新しい「地域クラブ活動」についての意見交換会

子どものニーズに合った新たなスポーツ・文化芸術活動について、保護者や地域のみなさまとアイデアを出し合う意見交換会を実施しました。（令和5年12月～令和6年1月）

■主な意見

○選択できる、選択肢

- ・スポーツと文化の両立
- ・カテゴリー別の活動
- ・勉強と両立したい
- ・季節によって種目を変えて、1年を楽しみたい

○交流

- ・異学年の交流
- ・地域との交流（地域の施設を利用できる、PTAクラブ等を活用できる）
- ・小学校、高校、大学、専門学校との交流

○体験

- ・新しいことを知る、出会う
- ・複数の種目に取り組むことができる
- ・マルチスポーツ部、ものづくり部、伝統文化体験、アウトドア活動など

○指導者の確保

- ・ボランティアに頼らない報酬制度
- ・技術指導だけではない
- ・指導者研修、マニュアルが大事
- ・指導者に対する評価制度
- ・定期的にブラッシュアップが必要
- ・人材バンクや指導者コミュニティなどで幅広く指導者を確保するシステム
- ・1人ひとりに合わせた対応
- ・教員の兼職兼業

○安心、安全、居場所

- ・仲間づくり、人間関係づくり
- ・活動場所へ安全に移動できる
- ・スポーツが苦手な子どもも楽しめる活動
- ・放課後楽しく過ごせる
- ・家でも、教室でもない居場所、教室に入りにくい子どもの居場所
- ・誰かが見ているとありがたい

○資金調達

- ・企業協賛を募る、または企業の協力
- ・スポンサー、広告
- ・参加費は仕方ない

○市の方針

- ・ゴールを決める（〇年には部活動廃止等）
- ・財政的支援（市から、国から）

○子どもの意見

- ・子どもの本音を聞きたい
- ・生徒が主体的に活動できる
- ・余暇、充実、発散

